

【学校教育目標】「感謝の心をもち、自ら学び、たくましく生きる子供の育成」



学校だより 堂崎つ子

第 26 号

令和 8 年 2 月 19 日

南島原市立堂崎小学校

校長 末吉 優

冬のオリンピックより

22日まで開催の「ミラノ・コルティナ 2026 冬季オリンピック」について、テレビや新聞で日本人を含めた世界中の選手の活躍が紹介されています。世界中の選手が集まり、努力の成果を発揮する姿は、私たちに「挑戦することの大切さ」と「目標をもって努力を重ね、限界まで力を発揮しようとする事の素晴らしさ」を教えてください。そして、何よりお互いの健闘を称える姿に感動を覚えます。

私たちにとって、ふだんは触れることのない冬の（雪や氷の世界での）スポーツに関心を抱くことができたのも事実です。



<2月の図書室掲示>

新入学児童・保護者説明会を行いました。【2月10日（火）】

4月に入学する児童保護者の方々へ向け「入学説明会」を開催しました。来年度の入学予定者は17名の予定です。〇〇先生、〇〇先生、〇〇先生、〇〇先生で分担して、入学準備等について説明を行いました。

一方、新入学児童と5年生の交流会を図書室を中心に開きました。5年生が、新入学児童に喜んでもらえるよう、絵本を一緒に読んだり折り紙を折ったりして、いっしょに遊びました。ペアでの写真撮影や学校探検をしていく中で緊張もほぐれ、終始笑顔で楽しい一時を過ごしました。1年生も安心して入学を迎えられそうです。

ペアで撮った写真は折り紙のペンダントの裏に貼り、プレゼントしました。入学式の4月10日が楽しみです。



<保護者説明会>



<笑顔いっぱい・やさしいのペア写真 >



<絵本の読み聞かせ>



<メダルをかけた新1年生>



<高い本棚から・・・>



<5年教室での様子>

入賞者の紹介 入賞おめでとうございます！ (敬称略)

< 第24回南島原市セミナリヨ現代版画展 審査結果 >

特選	1年	〇〇 〇、	2年	〇〇 〇、	〇〇 〇	6年	〇〇 〇、	〇〇 〇
入選	1年	〇〇 〇、	〇〇 〇	2年	〇〇 〇、	〇〇 〇、	〇〇 〇	
	3年	〇〇 〇、	〇〇 〇、	〇〇 〇	4年	〇〇 〇、	〇〇 〇	
	5年	〇〇 〇、	〇〇 〇	6年	〇〇 〇			

※ 特別賞及び特選の作品は、2月21日(土)～3月1日(日) 午前10時～午後6時 ありえコレジヨホール で展示されます。

創立150周年記念事業 記念植樹 【2月14日(土)】

150周年記念事業の一環として、ケヤキの植樹を行いました。運動場排水の状況や電線の関係から、運動場西側に植樹しています。

いつまでも私たちの目と心に残る記念樹木として大切にしていきたいと思えます。また、とがりには、記念の石碑も設けています。

後日、除幕のセレモニーや全校児童での写真撮影も予定しています。



第2回子供を伸ばす会 【2月12日(木)】

6月24日以来、主任児童員様、民生児童委員様、老人会長様、学校評議員、PTA本部役員の皆様をお招きし、2回目の開催となりました。学校における子供たちの学習面や生活面の様子、地域における様子等について情報交換を行うとともに、児童・保護者・教職員3者による学校アンケートの結果に、学校関係者という立場からご意見をいただきました。この学校アンケート結果をもとに、子供たちのより良い成長のため、どのように関わっていくのか意見交換をいたしました。



子供たちの学力向上はもとより思いやりの心や規範意識をしっかり育て、学校教育目標「感謝の心をもち、自ら学び、たくましく生きる子供の育成」に努めなければならないと決意を新たにしました。

- 児童・保護者に比べ、職員の挨拶の評価が低いのはどうしてか。
 - 教職員は、「自分から進んで挨拶」という捉え方をして評価をしている。自分から進んで挨拶している子供もいれば、学校以外で声をかけられても挨拶ができない子供、様々である。明るく気持ちの良い挨拶ができる子供を増やしたい。
 - 家の前で(浜地区)学童に向かう子供たちに「おかえり」と声をかけると、「ただいま」と元気な挨拶を返してくれる。子供の声・挨拶を聞くとても元気になる。
 - 家の前を通っている子供たちは、登校班で安全に登校している。
- 言葉遣いについて、児童・保護者に比べて先生の評価が低い。児童の評価が甘いのでは。
 - 他人を傷つける言葉について、厳しく注意をしている。言い直しをさせる。悲しいと感じる子供もいる。家庭や地域で気付かれた場合、すぐ指摘していただきたい。
- 「いじめや差別を許さない風土、よりよい学級づくり」で若干児童の評価が低い。いじめを許さない学校・学級づくりに努める。
- 市民清掃時に、大人だけでなく子供も含めて一緒に清掃できたらと思い、PTAで呼びかけてみた。参加した児童もいるが、なかなか難しい部分もある。今後も呼びかけていく。
 - ・スクールバスのバス停から歩いて集団登校しているが、自治会清掃の際、雑草が伸びていると歩行時に白線外を歩くことになり危険であるので、気がかけて草刈りをしている。
- 話を集中して聞くことの評価が低い。
 - ・話をしっかり聞くことができれば、学力の向上につながる。同時に、何をどのように学習するのか理解でき、学びに向かうことができる。
- 子供の読書について、どのような取組があるのか。
 - ・寺子屋での「読み聞かせ」の中で、本と触れあっている。長いお話を集中して聞くことができたので、びっくりした。
 - ・学校では、2冊借りることができる。その際、1冊は図鑑やイラストなどが多い図書とは別に、文字中心の本や絵本を借りようすすめている。
 - ・読書集会の時、お話の会「チューリップ」の方に来校していただき、読み聞かせをしていただいている。
- 家庭科の学習支援に入ったが、先生方の変さがよく分かる。3~4人グループに入ったが、個人差があり、話を聞いていなかったり、ミシン縫いや手縫い等を行うまでに時間を要したりした。
- 学校だより等で定期的な情報発信がされている。
- 運動会等でがんばる子供の姿があった。また、百五十周年記念式典で子供たちの取組に感動した。
- 古城から石田方面への道路工事について(斜面)